



あなたと  
まちをつなぐ

広報

# ひの

祝 町村合併70周年記念号



氏郷まつり「夏の陣」



日野祭(宵祭)



南山王祭



## 新たな時代に向けたまちづくり

昭和30年3月16日に、1町6村が合併して誕生した本町は、この70年の間、幾多の困難を乗り越えながら、先人の英知と町民の皆様の努力により、着実な発展を遂げてまいりました。

合併当時とは、異なる地域が一つになることへの不安もあったことと思いますが、それぞれの地域の個性を活かしながら、新しい町としての一体感を醸成してきた歴史は、私たちの誇りです。

一方、人口減少や少子高齢化など、私たちを取り巻く環境は依然として厳しさを増しています。この70周年という節目に、先人や先輩方が築いてこられた基盤を活かしながら、新たな時代に向けたまちづくりを進めていかなければなりません。

70年前に新しい町としてスタートを切った先人の方々の決意と情熱を胸に、第6次日野町総合計画の将来像である「時代の変化に対応しだれもが輝きともに創るまち、日野“一”をめざし、町民の皆様とともに、町政を一層推進してまいります。変わらぬご指導のほど、よろしくお願い申し上げます。

日野町長

堀江 和博



東京2020オリンピック  
聖火リレー



ほいのぼり作り



防犯学習

## 日野町町民憲章

昭和33年3月28日告示

1. わたくしたち日野町民は、健康を増進し体位の向上につとめましょう。
1. わたくしたち日野町民は、教養を高め文化の発展につとめましょう。
1. わたくしたち日野町民は、生業に励み豊かな生活を営みましょう。
1. わたくしたち日野町民は、よい伝統を守り進取の気象を養いましょう。
1. わたくしたち日野町民は、平和を愛し住みよい町をつくりましょう。



日野まちなか歴史散策と秋の棧敷窓アート



近江中山の芋競べ祭り



火振り祭



日野菜学習



新しい制服



茶摘み体験



HINO BIG TIME GROOVE



大谷翔平選手からいただいたグローブ



おたすけカゴヤ



日野駅「つなぐ駅長」就任



国スポリハーサル大会



男子バスケットボール部全国ベスト16



給食に日野菜コロケ

昭和30年3月16日、1町6か村が合併して誕生した日野町が、本年度70周年を迎える節目の年となります。住民の皆様深く感謝申し上げますとともに、心よりお慶び申し上げます。

町政を振り返りますと、特に議会解散のリコールにまで発展した中学校統合に尽力された先人の姿が目には浮かびます。それらの中には時に痛みを伴う数々の困難がありました。未来を見据えた決断には脱帽いたします。現代を生きる私たちも先人たちの志を受け継ぎ、確かな町づくりを進めることが何よりも大切だと考えています。

議会においても調査研究の強化のために特別委員会を設置し、実効性のある政策提言を行えるよう努めてまいります。少子高齢化や人口減少は、もはや未来ではなく、差し迫った喫緊の問題となりました。皆様と対話を重ねながら、これらを見据えた『誰もが住みたくなる』まちづくりを進めてまいります。

結びに日野町の一層の発展と皆様のご健勝、ご多幸をお祈りいたしまして、ごあいさつとさせていただきます。

日野町議会議長  
杉浦和人



先人のご苦勞に感謝いたします



野崎 正治 さん

## 共に70歳を 迎えた思い

日野町は、昭和30年3月16日に、1町6村が合併して誕生し、令和7年3月で70周年を迎えました。そこで、日野町と同じ70歳を迎えられた野崎正治さんにお話を伺いました。

野崎さんは、37年間町内小学校等の教育現場に携わられました。その後、8年間日野町子育て・教育相談センターの室長をされ、現在はわたむきの里福祉会の理事長をされています。

### 70周年を迎え、 どのように感じますか

振り返ると、町の在り方が大きく問われた「びわこ空港建設」と「平成の大合併」が印象に残っています。さまざまな意見や課題がありました。住民運動などによる町民の意思で、現在の日野町として、70周年を迎えることができたと感じています。

### どのような変化がありましたか

役場の移転や小学校の木造校舎の建て替えなど、町は大きく変化してきました。国道307号や477号がない時代は、道が狭く車1台が通るのがやっとでした。

昭和55年には日野水口グリーンバイパスの開通記念マラソンが行われ、桜

谷小学校の児童と一緒に、車よりも一足早く通ったのは良き思い出です。

合併当初の暮らしは、お風呂に入るために新割りをしてお湯を沸かしたり、炭で暖をとったりしていました。みんなが同じ生活なので不便だとは感じていませんでしたが、子どもも仕事を任されました。現在の日野町が誕生した昭和30年から始まった高度経済成長により、物心がついたころから、白黒テレビ・洗濯機・冷蔵庫等が身近な家電となっていました。

今回改めて、町も暮らしも大きく変化した時代を共にしてきたと感じています。

### 今後の町への思いを 教えてください

日野町だけでなく日本全体の課題でもある“少子高齢化”の中でもやっていける町をみんなで考える必要があります。そして、誰もが住みやすいノーマライゼーション（誰もが平等に生活ができる社会を目指す考え方）な町をつくらせていきましょう。また、日野町の若者には、現代の情報があふれている社会でも、自分の価値観を見つけて大事にする中で、豊かな歴史と文化を持つ日野町と共に歩いてほしいと願っています。

### ～昭和30(1955)年の主な出来事～

羽田空港の旅客ターミナルオープン (5月20日)  
新しい1円貨幣が発行される (6月1日)  
世界で最初のディズニーランドが  
カリフォルニア州にオープン (7月17日)  
NHKの年越し番組  
「ゆく年くる年」がテレビ放送を開始(12月31日)



合併当時の商店街風景

# 今と昔の比較ギャラリー

昔の写真と今の写真を比べてどのように変わったのか発見してみよう！

## 議会

今



## 役場庁舎

昭和55年に移転

今



## 日野消防署

平成27年に移転(大谷)

今



昔



昔

移転前の役場や消防署は、大窪の街なかにはありました。

昭和49年に移転(河原)

昔



今

## 松尾公園



今



昔



昔

移転前の消防署(大窪)

## 日野中学校の制服

今



新しい制服

昔



前の制服

令和5年4月から制服が変更。生徒会代表やPTAなどを含む制服検討委員会で検討され、最終的には生徒投票で新しい制服が決定されました。

今



今

## 日野駅

平成29年に駅舎を再生



昔



多くの寄附により駅舎が再生されました。旧駅舎で使われていた「日野駅」の看板はそのままに、今に引き継がれています。

# 日野町70年のあゆみ

年月日

できごと

年月日

できごと

昭和30年3月16日

新町誕生

日野小学校講堂で日野町開町式が行われました。

昭和30年4月23日

初代町長に若村源左衛門氏が就任

昭和30年4月30日

第1回町議会議員選挙

昭和30年12月7日

日野町社会福祉協議会設立

昭和33年3月27日

日野町町民憲章制定決議（3月28日告示）

昭和36年4月26日

上水道工事完成（日野地区・西大路・仁本木・清田・別所・里口・猫田・十禅師）

昭和37年3月31日

各地区連絡所を廃止、公民館と改称される

昭和37年11月1日

日野文化会館（隣保館）が開館

昭和37年3月15日に着工し、同和对策事業の一環として開館しました。

昭和38年3月10日

日野公民館竣工

昭和40年3月8日

第2代町長に橋田喜一郎氏が就任

昭和41年4月28日

日野川ダム竣工（西大路）

洪水調整ダムとして昭和28年に着工。かんがい用水の不足から再検討され、多目的ダムとして完成しました。

昭和43年7月22日

綿向山・石楠花溪などが鈴鹿国定公園に指定



昭和44年1月21日

中学校統合案が議会で可決

昭和45年4月1日

彦根と枚方を結ぶ国道307号に昇格

昭和46年6月2日

日野中学校竣工

東中学校（村井）・北中学校（北脇）・西中学校（内池）を統合し、昭和46年に完成しました。

昭和47年1月14日

日野町総合発展計画を議会で議決

昭和47年5月14日

日野中学校体育館でNHKのど自慢公開録画

昭和48年3月8日

第3代町長に森田忠蔵氏が就任

昭和49年1月20日

町の木「ひの木」、町の花「ほんしやくなげ」制定

昭和51年3月1日

勤労福祉会館竣工

昭和52年4月20日

必佐小学校竣工

昭和53年11月3日

三重県松阪市と文化交流都市提携締結

蒲生氏郷公が日野から松坂（現・松阪）へ居城を移して商人を誘致し、町割りを行い、松阪の町の基礎をつくられたことを縁に交流提携を結びました。

昭和54年3月24日

林業センター・商工会館竣工

昭和54年10月10日

大谷公園野球場竣工

昭和55年10月5日

国道307号日野水口グリーンバイパス（有料道路）が開通



# 日野町70年のあゆみ

昭和55年12月～平成5年1月

年月日

できごと

年月日

できごと

昭和55年12月19日 日野町役場新庁舎竣工（12月22日執務開始）

昭和56年10月3日 近江日野商人館が開館

昭和56年10月14日 第36回国体相撲競技開始（～17日）

各地区で選手団の民泊にご協力いただき、町をあげての大会になりました。

昭和57年9月1日 桜谷小学校統合校舎  
学習・管理棟竣工、開校

昭和59年5月2日 ブラジル国エンブ市と姉妹都市提携調印

昭和55年8月10日に開催された国体リハーサル大会、全国教職員相撲選手権大会にブラジル国の選手が視察に来町され、友好を深めました。

昭和59年12月25日 「非核日野町宣言」を議会で議決

昭和60年3月29日 日野曳山祭が県無形民俗文化財に指定

昭和60年4月7日 日野中央病院（現日野記念病院）竣工

昭和61年4月14日 日野町保健センター開設

昭和61年10月6日 蔵王トンネル開通

昭和62年7月23日 日野小学校竣工

昭和63年3月30日 西桜谷公民館竣工

昭和63年4月30日 蒲生氏郷公銅像が  
ひばり野公園に完成



平成元年8月30日 南比都佐小学校竣工

平成2年3月24日 西大路小学校竣工

平成2年5月16日 韓国扶餘郡恩山面と姉妹都市提携調印

小野にある鬼室神社には、約1350年前、百濟（現在の韓国）から移住した鬼室集斯がまつられています。恩山面の恩山別神堂には鬼室福信がまつられ、この歴史的事実が交流のきっかけとなりました。

平成2年8月25日 第24回「歩いて歩いて関東へ」日本橋へゴールイン

昭和54年5月にスタートし、日野から日本橋までの51.2kmを12年かけて年2回歩き継ぎました。

平成2年9月1日 町営路線バス運行開始

平成2年10月6日 必佐公民館・農業構造改善センター竣工

近江中山の芋競べ祭りが国の重要無形民俗文化財に指定

平成4年2月27日 「同和対策の終結をめざしたふれあい町民集会」を開催

平成4年4月5日 東桜谷公民館竣工

平成5年1月10日 町民会館「わたむきホール虹」開館



年月日

できごと

平成5年3月8日 第4代町長に奥野弘三氏が就任

平成5年4月1日 町道河原三十坪線・県道近江八幡土山線の一部が国道477号に昇格

平成6年2月4日 県道泉日野線バイパス道路開通（明治橋～水口町）

平成7年4月1日 公共下水道事業供用開始  
（上野田・里口・内池東・内池西）

平成7年8月23日 NHK巡回ラジオ体操生放送（町村合併40周年記念）  
町民約4000人が参加し、人文字をつくりました。

平成8年3月16日 日野町立図書館が開館

平成8年3月22日 鎌掛公民館竣工

平成8年10月29日 11月10日を「綿向山の日」として制定

平成9年3月30日 日野公民館竣工

平成9年4月19日 滋賀農業公園「ブルームの丘」オープン

平成9年4月19日 ドイツ国ノイシュタット／アイツシユ市と文化産業交流提携調印

平成9年6月4日 日野町シルバー人材センター設立

平成10年1月16日 近江日野商人館が国の登録有形文化財（建造物）となる

平成11年11月18日 旧正野薬店が国の登録有形文化財（建造物）となる



年月日

できごと

平成12年3月10日 日野のホイノボリが県無形民俗文化財に選択

平成12年3月15日 県道中里山上日野線開通（東近江市中里町～河原）

平成12年3月19日 西大路公民館竣工

平成12年4月22日 「グリム冒険の森」オープン

平成13年3月18日 南比都佐公民館竣工

平成13年3月31日 鎌掛小学校が126年の歴史に幕を閉じる



平成14年9月22日 日野町・松阪市・会津若松市の3市町が「蒲生氏郷公ゆかりネットワーク共同宣言」に署名

平成16年7月11日 第5代町長に藤澤直広氏が就任

平成17年3月1日 旧正野薬店で日野観光協会事務所開き

平成18年3月27日 日野警察署が東近江警察署に統合され日野警部交番に

平成19年2月24日 日野東部地区広域営農団地農道（石子山トンネル）開通

平成19年3月31日 日野町地域総合センター（日野文化会館）が閉館

平成19年4月1日 日野町子育て・教育相談センター開設

平成19年4月1日 中部清掃組合ごみ処理施設・リサイクルセンター「クリーンわたむき」が稼働

# 日野町70年のあゆみ

平成20年4月～平成30年11月

年月日

できごと

平成20年4月1日 日野町早期療育事業「くれよん」開所

平成21年7月22日 滋賀県初「子ども農山漁村交流プロジェクト」事業を受け入れ

東大阪市の小学生167名が農村民泊体験（町内46軒が受け入れ）をしました。

平成22年2月14日

伊藤みぎ選手バンクローバー  
オリンピック出場・地元応援会

平成22年3月14日

日野中学校竣工式

平成22年5月18日

必佐バイパス（国道477号）開通

平成22年10月5日

日野水口グリーンバイパス無料化

平成22年12月9日

蓮花寺バイパス（県道桜川西中在寺線）開通

平成23年4月1日

桜谷幼稚園統合

平成24年5月13日

日野少年少女カルチャー教室開講

平成25年4月8日

つどいのひろば「ほけつと」開所

平成25年4月10日

日野中学校で学校給食が始まる

平成27年1月5日

町立保育所こばと園の新園舎で保育開始

平成27年1月25日

町史『近江日野の歴史』全9巻完成明日につながる集い



年月日

できごと

平成27年4月1日 近江日野商人ふるさと館「旧山中正吉邸」が開館

日野商人屋敷の公開や伝統料理の食体験レストランなどを行っています。

平成28年6月5日

「日野町ファミリースポーツセンター」オープン

平成29年10月1日

近江鉄道日野駅再生竣工式  
日野駅再生プロジェクトに多くのご寄附をお寄せいただき駅舎を再生しました。

平成30年3月27日

岡家住宅主屋が国の登録有形文化財（建造物）となる

平成30年4月1日

町内の小学校・幼稚園・保育所・認定こども園で米飯給食を開始  
町内の教育保育施設で町内産の米を炊いて、給食として提供しています。

平成30年10月19日

日野町消防団が第26回全国消防操法大会で優勝

平成30年11月24日

日野まちかど感応館（観光交流拠点施設）グランドオープン



年月日

できごと

令和元年5月31日

つごいのひろば「ぼけっと」移転、松尾公園の芝生広場がオープン

令和元年6月16日

「日野の味覚市」が始まる

令和元年7月4日

東桜谷おしゃべり会「おたすけカゴヤ」活動開始（住民ボランティアによる移動支援）

令和2年4月3日

小井口YK倶楽部「おたすけカゴヤ」活動開始（住民ボランティアによる移動支援）

令和2年7月11日

第6代町長に堀江和博氏が就任

令和2年10月11日

「日野駅再生プロジェクト」完了式典

令和2年11月1日

内池バイパス（県道日野徳原線）開通

令和2年11月28日

（社福）わたむきの里福祉会ファミリーわたむきの「にこまる」が「第22回米・食味分析鑑定コンクール国際大会」国際総合部門で金賞を受賞

令和3年4月1日

「日野町防災アプリ」運用開始

令和3年4月1日

「わたむき自動車プロジェクト」始動

令和3年5月28日

東京2020オリンピック聖火リレー町内を走行

令和4年2月17日

旧山口嘉七家住宅が国の登録有形文化財（建造物）となる

令和4年3月21日

町出身の遠藤エミ選手が「第57回ポルトレースクラシックSG競走」で女性レーサーとして初めて優勝



年月日

できごと

令和4年6月29日

伊藤みきさんが初代「近江日野ふるさと大使」に就任

令和4年10月21日

近江日野産日野菜が地理的表示G.I.認証を取得

令和4年11月27日

綿向山青年の塔50周年記念式典

令和5年3月1日

「チョイソコひの」実証実験運行開始

令和5年5月27日

大谷公園野球場リニューアルオープン

令和5年8月1日

西桜谷ちよいのり会活動開始（住民ボランティアによる移動支援）

令和6年7月19日

「近江日野商人の日（2月5日）」を日本記念日協会が記念日として認定

令和6年10月12日

日野町消防団が第30回全国消防操法大会で準優勝

令和6年11月3日

「わたしが輝く国スポ」リハール大会（軟式野球）（4日）

令和6年12月20日

日野町文化財保存活用地域計画が文化庁により認定

令和7年1月18日

日野町公共ライドシェア実証実験運行開始

令和7年3月9日

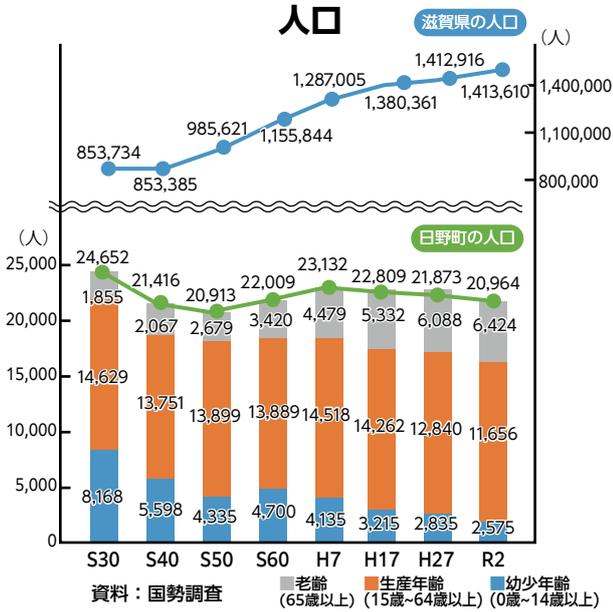
町村合併70周年記念式典



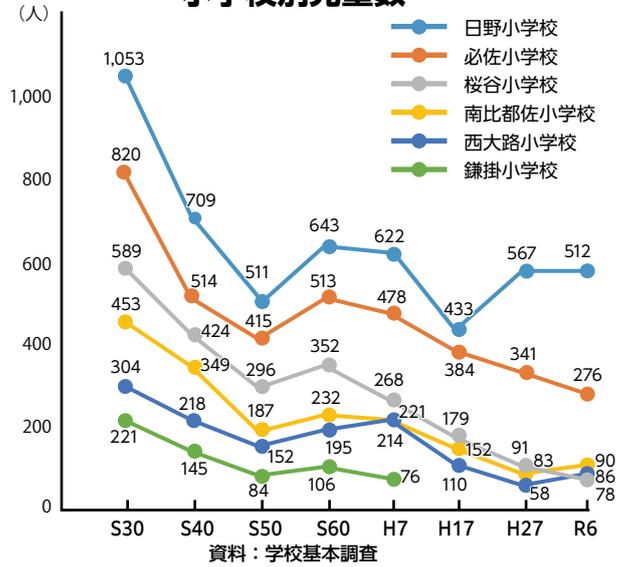
# データで見る日野町の70年

原産日野菜  
キャラクター  
あのなひのな

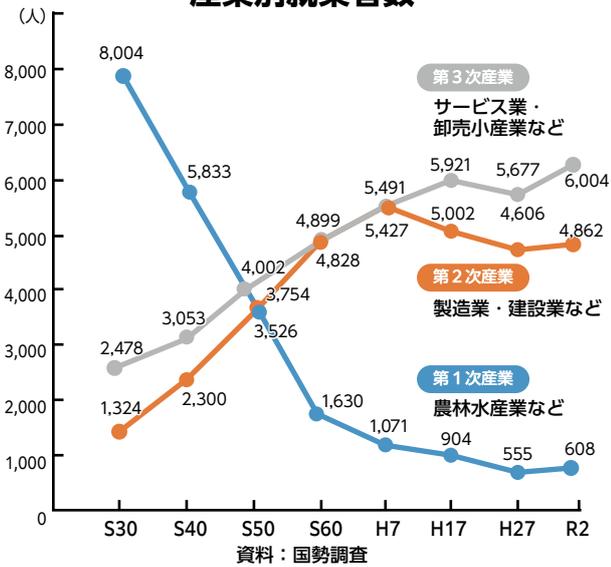
## 人口



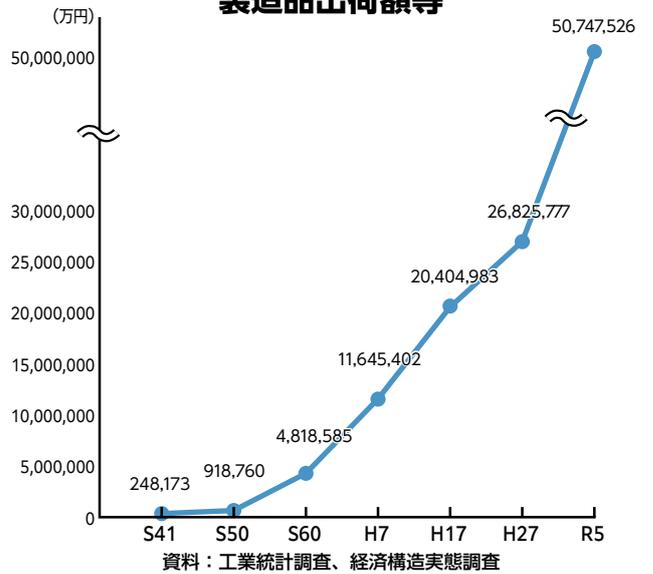
## 小学校別児童数



## 産業別就業者数



## 製造品出荷額等



総人口



昭和30年 → 令和7年  
24,652人 → 20,664人  
(10月1日時点) (2月1日時点)

世帯数



昭和30年 → 令和7年  
5,339世帯 → 8,835世帯  
(10月1日時点) (2月1日時点)

外国人  
住民人口



昭和31年 → 令和6年  
121人 → 974人  
(12月末時点)

町決算  
一般会計



昭和30年 → 令和5年  
歳入総額 1億1,679万円 → 107億4,128万円  
歳出総額 1億1,188万円 → 100億8,956万円



蒲生氏郷公顕彰会  
公認キャラクター「がもにゃん」

資料：国勢調査、住民基本台帳、町勢要欄 1957、日野町歳入歳出決算書



日野町の未来を担う  
子どもたちに、  
“わたしの夢”を聞きました☆

表紙は、1月13日（月）に開催された「第2回こども・大人ワークショップ」に参加した皆さんです。子どもや大人が意見交換をして考えた“気持ちよく暮らすための合言葉”である『ひのっこ宣言』を紹介しします。

- あいさつで つながる心 いい笑顔
- きいてみよう 自分のきもちと相手のおもい
- 楽しもう どうせやるなら よろこんで
- チャレンジを やらへんなんて もったいない
- しっぱいも 「かまへん かまへん だんないで」
- だれとでも たよりたよられ 助け合い

ひのっこが よりよい日野町 つくります！